

出町茶論だより

でまち さろん

No. 74

2023.1.1



あけましておめでとうございます

昨年はお世話になり大変ありがとうございました。本年も出町茶論の活動や情報をお届けしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



出町茶論の呼称

出町茶論は半日型デイサービスですが、半日型デイサービスは、トレーニングマシンのある機能訓練型デイサービス、リハビリ型デイサービスと呼ばれているものが多いと思います。では、出町茶論は何型のデイサービス？どのように説明するか？そこで次のように考えました。

ここで、リハビリの意味を考えてみたいと思います。リハビリとは皆様ご存じと思います。リハビリ=専門職による機能回復訓練ととらえられることも多いですが、「リハビリテーション」ということばには広い意味があります。

(Rehabilitation)は、re (再び、戻す) とhabilis (適した、ふさわしい) から成り立っています。つまり単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリテーションなのです(以上、京都府HP参考)。

つまり「当たり前に行ってきた暮らしや、その人らしい暮らしを再構築すること」と言い換えられます。しかし、人生100年時代を迎えると、これらが難しくなることが増えてきます。自分自身のことと捉えれば健康寿命を延ばすことを考え、介護現場に携わる者としては、その人らしい暮らしを支える役割があります。

出町茶論では、その人らしい暮らしを再び構築してもらい、より充実した暮らしのために自分らしさの再発見及び創造から、ご利用者一人ひとりの独自の価値(生きがい=文化)形成の支援を従来から行ってきました。



パソコン、タブレットで好奇心を持ち、視野を広げる。



買物の楽しさを再び感じる



作物を育て収穫する喜びを感じる



今までの作品を披露する



出町茶論 第一号集

俳句を作り、その成果を句集として作成し披露する



思い出語りを行う



俳句作り、その成果を句集として作成し披露する

宮沢賢治、新美南吉の物語を声を出して読み頭の中で物語の情景を思い浮かべる

宮沢賢治、新美南吉の物語を声を出して読み頭の中で物語の情景を思い浮かべる

宮沢賢治、新美南吉の物語を声を出して読み頭の中で物語の情景を思い浮かべる

これらの活動から出町茶論は「文化サロン型デイサービス」という呼称をつけさせていただくことにしました。皆様、いかがでしょうか。これからもご利用者一人ひとりの生きがいづくりの支援をして参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

京極幼稚園との交流



毎年12月に恒例行事の同じ学区の京極幼稚園との交流を行いました。幼稚園から園児の皆さんが歌と踊りを録画したCDを届けてくれました。画面一杯に飛び跳ね歌う姿に、ご利用者の皆さんは、かわいい、元気をもらったと喜んでもらいました。



園児の皆さんにいろいろなものに興味を持ってもらいたく、お返しに凶鑑をプレゼントしました。



この交流は6年目になりますが、コロナ禍前には園児の皆さんが出町茶論を訪れていました。早く直接交流が再開できることを祈るばかりです。

畑の作物

冬野菜のダイコン、カブの種を蒔くのが遅くなり、生育がいまいちでした。今回は作物を育てることの難しさを学びました。



◆どうぞご利用のお問い合わせ下さい◆

出町茶論(でまちさろん)

☎075-204-4716

京都市上京区寺町通今出川上る表町21 市川ビル

<https://demachi-salon.site/>